

「綾の照葉樹林」を 世界遺産に

綾の森を世界遺産にする会
代表 上野 登(宮崎大学名誉教授)



白神山地は東の横綱、綾の森は西の横綱。

■「綾の照葉樹林」とは

●わが国最大の面積

宮崎県綾町の標高1,109mの大森岳南東稜に広がる原生的照葉樹林。まとまった中心部の面積は約1,700ヘクタールで、わが国の照葉樹林の中で最大の面積を誇る。周辺部にも部分的照葉樹林と二次的照葉樹林が広く残り、「綾の照葉樹林」を形成している。

●最大90種もの豊かな森の植生

シイ類、カシ類のほか、タブノキ、イスノキなどが優占しているが、林内には多様な植物が生育。種類は平均60種、最大で90種を数えるほど種の多様性に富んでいる。

●クマタカも舞う豊かな森

動物では「種の保存法」により保護が求められている希少種のクマタカ、イヌワシをはじめ、ニホンカモシカ(綾は生息地南限)、サル、イノシシ、ムササビ、ヤマネなどが生息し、鳥類ではアカショウビン、サンコウチョウ、フクロウ、オオルリ、オシドリ、ヤマセミなど多種類にわたる。(「九州のニホンカモシカ」は、遺伝的に特徴ある個体群として保護管理が必要とされている。)

●感動と安らぎの素晴らしい景観

「綾の照葉樹林」で特徴的なのは優れた景観である。綾南川の大森岳南東稜に連続する樹林を対岸から立体的に眺望できる景観は、人々に感動と安らぎを与える。とくに3月から5月にかけて

ての照葉樹の開花期は「綾の照葉樹林」の秀逸の美観である。

■照葉樹林とは

●ヒマラヤから日本へ連なる

照葉樹林とは、ヒマラヤの中腹あたりから東へ、ネパール、ブータン、アッサムの一部を通り、東南アジア北部山地、雲南、貴州高地、長江流域、朝鮮半島南部を経て、西南日本に至る東アジアの温暖帯に沿って分布する常緑広葉樹林のことである。わが国では九州西部から秋田県海岸部、岩手県南部を北限とする地域に分布している。

●日本の森はブナ林と照葉樹林

東日本を中心に広く分布するブナ林は冷温帯の落葉広葉樹で、年平均6~13℃の地域に生育し、北限は北海道渡島(おしま)半島、南限は南九州である。世界遺産に登録された白神山地のブナ林はその代表である。一方、照葉樹林は年平均13~21℃の地域に生育し、西日本を中心に広く分布し、「綾の照葉樹林」はその代表である。白神山地を東の横綱とすれば、「綾の照葉樹林」は西の横綱である。

●共通する文化的要素

東アジアに連続する照葉樹林帯には、共通する文化要素が数多く継承されており、1966年中尾佐助氏によって「照葉樹林文化」と命名された。その文化的要素の中ではとくに、アワ、ソバ、餅、オコワ、甘酒、茶、納豆、コンニャクなど、食文化に関するものが私た

ちの生活に継承され親しまれている。照葉樹林は日本人の基層文化の一つを育んできたのである。

■綾町と照葉樹林

●伐採の危機から守られた森

「綾の照葉樹林」の中核をなす約1,700ヘクタールは、前町長郷田實氏が先頭に立ち、町民の力を結集し国の伐採計画に抗した結果、1966年に残されることになった。郷田町長はその後、照葉樹林を町づくりの基盤に自然と共生する町政を果敢に実施した。

●かけがえのないふるさとの風景

現在、綾町には県内外から年間100万人を超す人々が訪れる。その要因の一つは、照葉樹林を背景にした綾町の自然風景にある。その風景は、失われたふるさとの原風景と二重写しになり訪れた人々を引きつける。綾町の自然風景は「綾の照葉樹林」と一体のものとして大事に残していかなければならない。

●評価される綾の自然環境

- ・「九州中央山地国定公園」環境庁長官
- ・「21世紀に残したい日本の自然百選」森林文化協会
- ・「森林浴の森100選」緑の文明学会
- ・「あおぞらのまち40選」環境庁
- ・「水源の森100選」林野庁
- ・「日本名水百選」環境庁
- ・「水の郷100選」国土庁

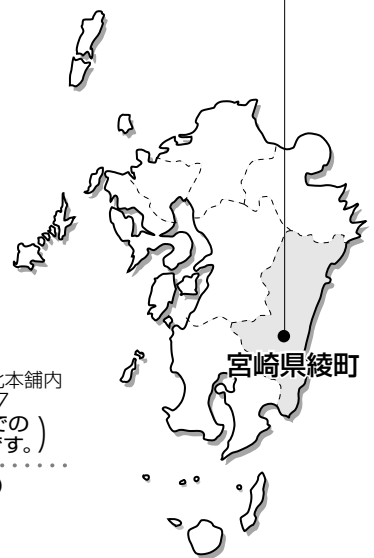
■私たちが賛同しています。(50音順、敬称略、10月21日現在NO.3)

姉崎 一馬(写真家)
稲本 正(工芸家・オークヴィレッジ主宰)
岩井 理栄(綾の森を支援する会)
内田 繁(インテリアデザイナー)
江本 勝(IHM総合研究所)
永 六輔(放送タレント)
大歳 昌彦(経営コンサルタント)
上遠 恵子(ルーチェルカーソン日本協会)
隈 研吾(建築家)
倉本 聡(富良野塾)
小林 良夫(地球TIMES発行人)
佐々木高明(国立民族学博物館名誉教授)
佐藤 文彦(くりもと地球村)
C・W・ニコル(作家)
椎名 誠(作家)
高木 善之(ネットワーク「地球村」代表)

立松 和平(作家)
谷川 賢作(ピアニスト・作曲家)
谷川俊太郎(詩人)
筑紫 哲也(ニュースキャスター)
鳥山 敏子(賢治の学校代表)
中村 桂子(生命誌研究者)
野中ともよ(ジャーナリスト)
船井 幸雄(船井総合研究所代表)
松一 竜(作家)
松下 猛(エッセイスト)
三橋 規宏(環境ジャーナリスト)
成 成一(映画監督)
貴和 貴和(京都大学生態学研究センター助教授)
渡辺 武(日中薬業研究会会長)
渡辺 文雄(俳優)

《宮崎県内賛同人》

芥川 仁(写真家)
池田 一(宮崎大学元学長)
河野 耕三(日本生態学会)
川原 一之(記録作家)
黒木 一明(写真家)
郷田美紀子(照葉樹林文化シンポジウム実行委員会)
坂元 守雄(「みやざきの自然」発行者)
中村 政人(医師)
日高 晃(宮崎照葉樹林ネットワーク)
前田 穰(綾町長)
三戸サツエ(幸島自然苑)
三又 喬(ふるさとリポーター)
南 邦和(日本ベンクラブ会員)



只今、署名
お願い中!

- 署名締切日:2002年11月30日(土)
- 署名送り先及び連絡先:綾の森を世界遺産にする会
〒880-0805 宮崎市橘通東3丁目1番11号 アゲインビル2F 宮崎文化本舗内
TEL 0985-60-3911 FAX 0985-28-1257
- E-mail署名受付先:aya@bunkahonpo.or.jp (オンラインでの)
- URL:http://www.bunkahonpo.or.jp/aya (署名もOKです。)
- 郵便振替での募金も、よろしくお願ひ致します。(一口:500円)
《口座番号》 01760-6-102078
《口座名称》 綾の森を世界遺産にする会